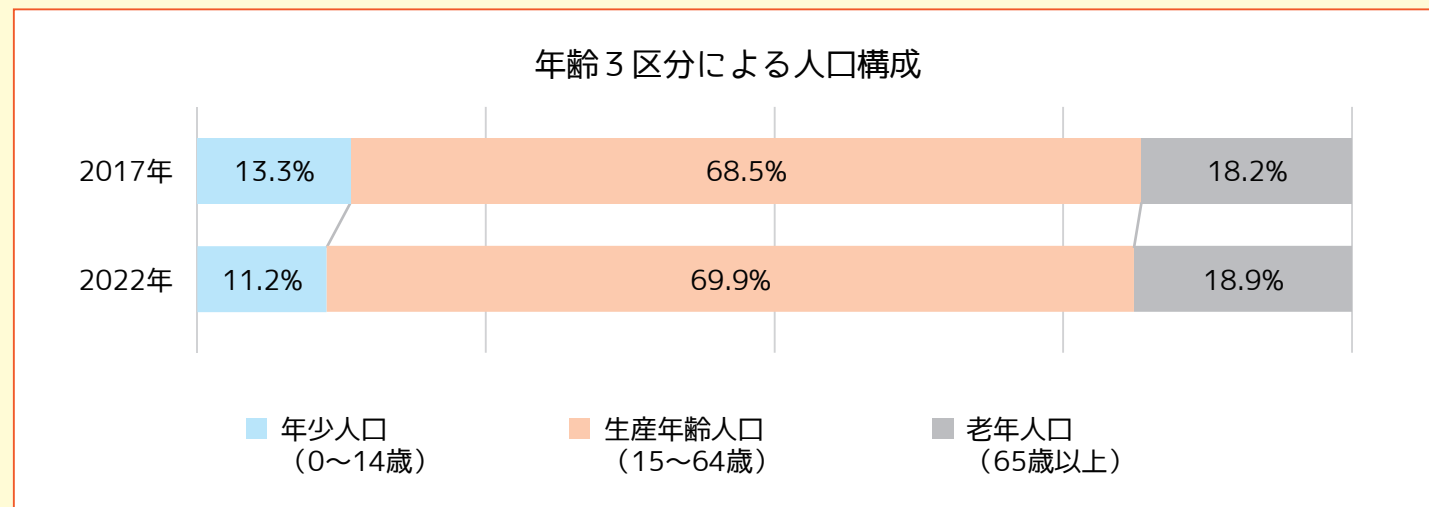


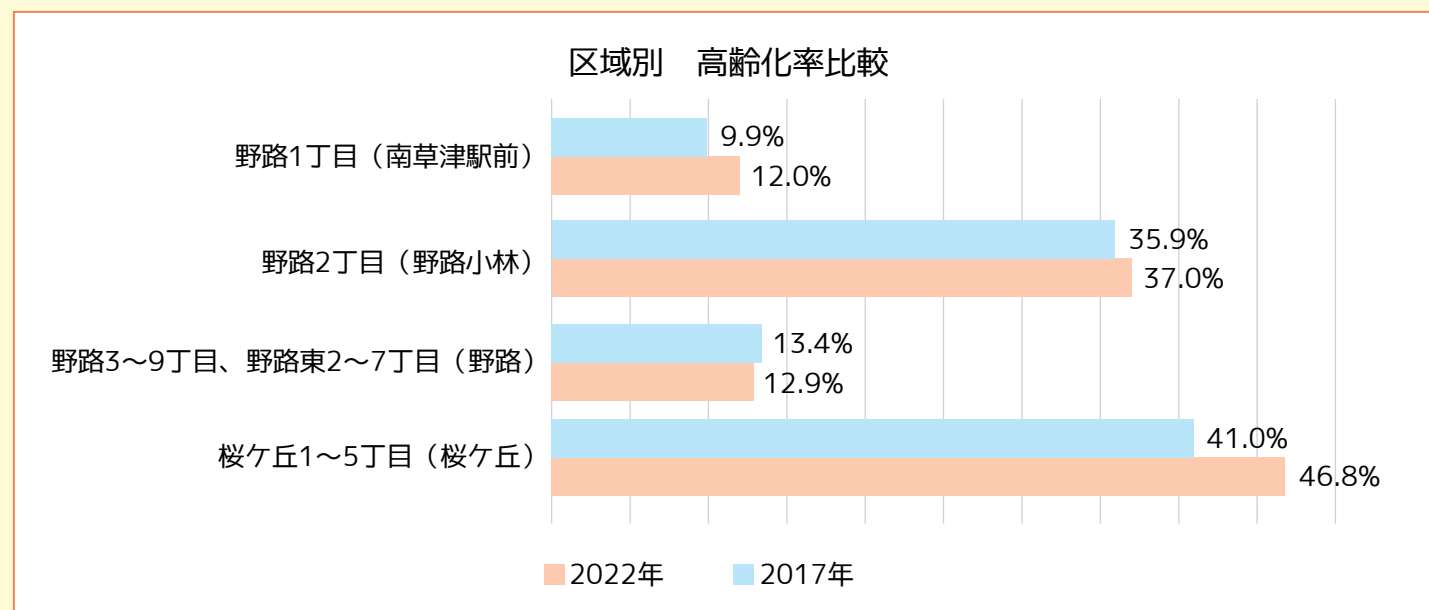
玉川学区の状況 進む少子高齢化

年齢3区分による人口構成の比較では、年少人口（0～14歳）の減少が特に進んでおり、区域別高齢化率の比較では高齢化（住民の内65歳以上の占める割合）の進捗が顕著な区域が見受けられます。

①年齢3区分による人口構成



②区域別高齢化率（住民の内65歳以上の占める割合）



【草津市統計に基づき作成】

策定委員会委員（玉川学区医療福祉を考える会議委員）

中野 和彦（玉川学区社会福祉協議会）	山口 健太（指定居宅介護支援事業所ケアプランそら）
福井 善隆（玉川学区民生児童委員協議会）	平尾 正幸（特別養護老人ホーム萩の里）
福井 麻世（主任児童委員）	文達 敏槻（小規模多機能型居宅介護事業所萩の里）
深尾 栄子（草津手をつなぐ育成会）	蝶勢 恵美（萩の里居宅介護支援事業所）
島田佳世子（草津市赤十字奉仕団玉川分団）	大藪 元子（よつぱりリーフ訪問介護ステーション）
田辺 玉恵（玉川学区更生保護女性会）	嶋村 謙太・小賀 優子（玉川地域包括支援センター）
福井 礼子（玉川学区健康推進員連絡協議会）	谷 亜悠未（草津市地域保健課）
吉崎 健（玉川スマイルクリニック）	大西 奈穂・吉野理紗子・内田 萌花（草津市社会福祉協議会）

策定経過

- ①事前の意見集約、資料の作成 令和4年5月
- ②計画策定委員会として「玉川学区医療福祉を考える会議」を開催
 - ・現状と課題、今後の取り組みについて 令和4年6月21日
 - ・住民福祉活動計画（案）について 2令和4年9月6日

玉川スマイルプラン 2023

笑顔でつなぐ
笑顔でつながる
人と人

玉川学区住民福祉活動計画

玉川学区住民福祉活動計画（2010年）の策定から10年余りが経過し、社会環境の変化とともに医療福祉に関する地域の状況、課題に対応した活動を進めるため、活動の指針となる新たな計画を玉川学区医療福祉を考える会議において策定しました。

玉川学区社会福祉協議会

2023年3月

玉川スマイルプラン2023 「笑顔でつなぐ・笑顔でつながる・人と人」

～玉川学区住民福祉活動計画～（活動を進める基本的な目標、内容）

活動目標

- 1 いつでもだれでも『軽・近・短』な催しを『軽』気軽に・『近』近場で・『短』短時間でも無理なく参加
- 2 多世代・多様な人と人が集う場（プラザ）を あんしんプラザ（福祉）・すこやかプラザ（健康）・ふれあいプラザ（交流）
- 3 地域の福祉力アップを『我が事』として考え取り組む、医療・福祉に地域のこと

子ども・子育て 一人じゃないよ・子育て応援

わいわいガヤガヤ『子育て会議』
※子育て世代が気軽にしゃべれるつどいの場
子育てサロン（民児協）への支援

つながり・支え合い 普段から気づき・声かけ・お互い様

一家に一本 あんしんボタン
※希望する方に広くボタンを配布
見守りと『あいさつの後 もう一言』
※あいさつと日ごろの様子もできれば会話

福祉ボランティア

あなたも一歩・ちょこっとボランティア

使用済み切手などの収集ボランティア
※捨てないで、福祉活動に役立てよう
地域みんながボランティア『福祉サポーター』
※フリーな立場で福祉活動に気軽に参加

各分野の取り組み目標

高齢者

サロンに参加・健康づくりとつながりづくり

高齢者ふれあいサロン・地域サロン
※高齢者のつどい、交流の場
高齢者団体への支援

障害児・者

気づきがスタート・障害児者への理解と啓発

様々な障害についての『疑似体験』
※日常生活で抱えるハンディを体験
障害児者との交流

広報・啓発

健康・福祉 知って気づいて考えよう

福祉セミナー・シネマサロン
※健康・福祉をテーマに考える
玉川社協だより

活動を進める目標

★自治連など関係団体・機関との連携
それぞれの力を発揮、連携し総合力を高める

★医療福祉を考える会議での定期的な話し合い
地域の課題などの情報交換・情報共有により課題解決力を高める
※地域の代表、医療福祉の専門職、市、市社協などが参加